

第六十二回
帝國議會
貴族院

手形法案特別委員會會議事速記録第一號

昭和七年六月七日(火曜日)午前十時十八分開會

○副委員長(木場貞長君) 開會イタシマス、質問ノ續キヲ致シマス

○山川端夫君 昨日伺ヒマス、此法律ハ條約案ニ付テ豫メ國內ノ各實業團體等ニ御諮問ニナッタト云フコトヲ伺テ居リマシタガ、大體ドウ云フ所ニ御諮問ニナリマシタカ、又其回答ガ大體ドウ云フ風デアッタカト云フコトヲモウ一應御確メ致シタイト思ヒマス、ドウゾ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(長島毅君) 此條約ニ付テ調印ヲ致シマス前ニ、聯盟ノ方カラ問題ヲ提出シテ參リマシテ、向ウノ國ノ意見ヲ問合セラレタノデアリマスガ、其際ニ日本銀行、正金銀行、ソレカラ日本商工會議所、手形交換所ナドノ意見ヲ照會イタシマシテ、ソレニ基イテ詰リ代表ニ訓令ヲ出シタノデアリマスガ、其際ノ意見ノ主ナルモノハ、署名ニ代ヘルニ記名調印ヲ以テスルト云フコトガ必要ダト云フコトデアリマシタガ、是ハ無論記名捺印デ宜シイノダト云フコトデ、其通りダト云フコトヲ認メラレタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、此前昨日申上

第四部第一類 手形法案特別委員會會議事速記録第二號 昭和七年六月七日

ゲマシタ手形ノ利息ヲ附ケル、是ハ寧ロコテラノ實業家ノ意見ハ總テノ手形ニ利息ヲ附ケル、又此現行法ヲ改メロトカ、寧ロ是ヨリモト進ンデヤッテ貫ヒタイト云フ話デアリマシタガ、是ハ御承知ノヤウニ確定日拂ノ手形デアリマスナラバ、元金ノ中ヘ利息ヲ計算シテ入レ、バ宜イノデアリマシテ、一覽後定期拂、日附後定期拂ノヤウナモノニ付テ認メレバ十分ナノデアリマスカラ、其點ハ詰リ日本ノ主張ガ事實上通テ居ル譯ナノデアリマス、ソレカラ拒絶證書作成免除ノ文句ヲ、是ハ原ノ案ハ振出人ニシカ許シテ居リマセヌデシタガ、裏書人ニ許シテ貫ヒタイト云フ意見ガ出マシタ、日本デ主張イタシマシタヲ其通りニ通りマシタノデアリマス、ソレカラ不可抗力ノ場合ニ手形ヲ提示シナイデ宜シイ、提示シナイデ償還請求ガ出來ルヤウナコトヲ置イテ貫ヒタイト云フ意見デアリマシテ、之ヲ持出シマシタ所ガ、其通りニ改マッタノデアリマス、斯ク致シマシテ實業家ノ申出ハ殆ド容レラレテ居ル譯デアリマシテ、其外ノ諸點ニ付テハ何等異議ハナカッタノデアリマス、手形交換所ヤ商工會議所等ハ此法律案ハ餘

程以前カラノ問題デ、前カラ研究ガアッタノデアリマス、御承知ノ通り海牙ノ會議ノ時ニ既ニ出來マシタ案ガ、日本ノ學者ノ間ニ研究サレ發表サレテ居ッタノデアリマスガ、ソレト大シタ差ガナイ案ガ出タノデアリマスカラ、前カラモ十分研究ガアッタモノデアリマス

○水上長次郎君 昨日大臣カラ御説明ニナリマシタコトヲ承リマシテ、又我々一同ヘ御廻シニナリマシタ説明書ヲ、全部ハマダ拜見イタシマセヌガ、チョット見テ見マシタ所ガ、ドウモ非常ニ本案ニ付キマシテハ私ハ疑ヲ起シタノデアリマス、ソレヲチョット御尋ヲ致シタイト思ヒマス、本案ハ單ニ手形法案トナッテ居リマスガ、ドウモ昨日カラ大臣ノ説明ナリ説明書ヲ見マスルト、是ハ一種ノ國際手形法デアッテ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、是ハ一種ノ條約デアッテ、爲替手形、約束手形ノ統一法條約ノ附屬書ノ第一第二

デアル、デアリマスルカラ、此説明書ニモ書イテアリマスル通り、本案ノ第一篇第二篇ト云フモノハ、第一附屬書ノ第一第二ノ翻譯デアル、デ元來ガ手形統一法ノ條約ニ依ッテ斯ク定メラレタモノデアアル、デアリマスカラ、我々ガ本案ニ付テ、本案ニ接シテ此條ハ斯ウ改メル、此條ハ斯ウセネバナラヌ、又此文句ハオカシイカラ斯ウシナケレバナラヌト云フコトハ、條約ニ依ッテ羈束セラレテ居ル限りハ、ドウスルコトモ出來ナイノデアアル、尤モ本案ノ附則以下ノ所デハ、ソレハ取捨選擇ハ隨意デアリマセウ、ケレドモ第一篇第二篇ニ於テハ、ドウスルコトモ出來ナイ、條約ニナッテ居ル以上ハ……尤モ條約ニ加入スルトカ、セヌトカ云フヤウナ問題ハ別ニシテ、今更ニ日本ノ獨自ノ立場ニ於テ、新ニ手形法ト云フモノヲ設ケル場合ニハ、ソレハ勝手次第ニ……ソレハ慎重審議シテ宜イトカ惡イトカ云フコトハ、各條ヲ改メルコトハ出來マセウケレドモ、本案ニ付テハソレハ出來ナイ、ト云フノハ此條約ニ於テハ羈束セラレテ居ル、條約ニ入ルトカ入ラヌトカ云フ問題デアッテ、本案ノマア宜イトカ惡イトカ云フ問題デハナイ、尤モ斯ウ云フ法律ハ日本ノ内地ノ事情、内地ノ習慣、内地ノ狀況ニ於テ不當デアアル、斯ウ言ヘバ或ハ條約ニ加入シナイトカ加入スルトカ云フモノ、別ガ出來マセウケレドモ、條約ニ道入ッテ居ッテ其條約ニ調

印シテ居ル以上ト云フモノハ、ドウスルコトモ出来ナイ、サウスルト本議會ニ於テ之ヲ討議スルト云ウテモ、何ヲ討議スルノデアルカ、マアチヨット申上ゲテ見マスレバ、一種ノ條約デアッテ、議會ニ於テ之ヲ議決スルトカ審議スルトカ云フヤウナコトハ、出来ニクイモノデハナイカト思ハレマス、是ハ私が説明書ナリ大臣ノ御説明ヲ承ッテ一時浮ンダ考デアリマスカラ、又更ニ別段ノ御説明ヲ承リマスナレバ、或ハ又大ニ悟ル所ガアルカモ知レマセヌガ、要スルニ今日只今ノ場合デハ、ドウモ是ハ丁度一種ノ條約ヲ本院ニ於テ審議スルト同ジヤウナコトデアッテ、是ハ出来難イモノデハナイカト思フノデス、要スルニ條約ト云フコトニ一ツ羈束サレテ居ル、批准スルトカ批准セヌトカ云フコトハ、是ハ別ノ話デアリマスガ、兎ニ角羈束セラレテ居ル、ソレデ私ガ懐ク所ノ疑念ト云フモノハ斯クノ通りデアリマスカラ、ドウカ十分ニ一ツ御説明ナリ又御話ナリヲ伺ッテ上デ、何分ノ考ヲ定メタイト思フノデアリマス、是ダケチヨット……

テ居リマス所ノ手形法案ト同ジモノデアリマスガ、ソレヲ原本文共儘デアッテ又自國ノ翻譯ヲシテ各自ノ領域内ニ施行スルコトヲ約ス、各領域内ニ施行スル義務ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、條約ノ締約國ガ若シ此條約ヲ批准シヤウト思フモノナラバ、附屬書ヲ法律ニシテ國內ニ施行シナケレバナラナイノデアリマス、施行スル爲ニハドウシテモ貴衆兩院ノ協贊ヲ經ナケレバナリマセヌカラ此處ニ提出セラレタ次第デアリマス、ソレデアリマスカラ、結局問題ハ若シ此法案ノ内容ガ悪イ、コンナモノハ逆モ施行スルコトガ出来ナイト云フコトデコチラデ否決ニナリマスレバ、詰リ條約ヲ批准ラシナイト云フ結果ヲ招來スル譯デアリマス、若シ又是デ宜シイト云フコトニナリマスレバ、此法律ヲ玆デ施行スルコトガ出来ルヤウニナリマスカラ、施行スルコトガ出来ルト云フコトニナレバソコデ批准モ自然出来ル、斯ウ云フ關係ニナルノデアリマス、詰リ間接ニ……直接デアリマセヌガ、間接ニ影響ヲ與ヘルト云フコトニナラザルヲ得ナイト思フノデアリマス、併シ是ハ此問題許リデナク詰リ條約ト法律トノ關係ニハ常ニ起ルコトデ、是ハ日本ノ法制上實ニムツカシイ所デアリマスケレドモ、ド

ウモ是ハチヨット私ニモ其説明ガ出来ナイノデ常ニ此問題ハ起ル譯デアリマス、常ニ起ル問題デアアルノデ是ハドウモ日本ノ法制上下ドウシタラ宜イカ常ニ迷フ次第デアリマス

○國務大臣(小山松吉君) 私カラモ結局同ジコトニナルヤウデアリマスガ、申上ゲテ置キタイト思ヒマス、水上委員ノ御考ヘニナッテ居ルコトハ御尤ダト思ヒマス、兎ニ角此手形統一法ト云フモノハ帝國ガ締約國トシテ關係シテ居リマス以上、之ニ調印ヲシテ居リマスカラ御批准ニナルベキモノダト一應思ハレルノデス、是ヲ水上委員ノ仰セラレタヤウニ條約ダト云フコトニナルト何故帝國議會ノ協贊ガ要ルカト云フ疑ガ起ルノデスガ、詰リ政府ガ臨時議會ニ提出シマシテ理由ハ、此條約ノ批准案ヲ日本デ種々ノ手續ヲシマス爲ニハ手形統一法ト同一内容ノ國內法ヲ制定スルコトニナルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスト現行商法ガ改正サレル譯ニナリマス、現行商法ハ議會ノ協贊ヲ經テ法律デアアルコトハ無論デアリマス詰リ條約デハナイ、條約ト同一内容ノ國內法制定ニ付テ議會ノ協贊ヲ求ムル必要ガアルト云フ所ニ著眼シテ居ル譯デアリマス、細カク申シマスレバ水上委員ノ仰シ

ヤルヤウニ何トモシヤウガナイデヤナイカト云フ議論ニナリマスケレドモ、是ハ只今政府委員ノ申サレマシタヤウニ、日本ノヤウナ批准權ガ大權事項ニナッテ居リマス、所デハ何時デモ條約關係ノ國內法ハ斯ウ云フ問題ガ起ルデハナイカト思ヒマスソレダケ申上ゲテ置キマス

○水上長次郎君 只今ノ御説明デ一應解リマシテゴザイマスガ、サウスルト云フト此我々ガ本案ヲ熟慮審議スル場合ニ於テハ唯箇條々々ニ付テノ意見ハ何等述ブルコトハ出来ヌガ、全體ニ於テ宜イト云フカ或ハ惡イト云フカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ即チ可否ヲ……可否ト云ッテハ同ジコトニナリマスケレドモ、兎ニ角斯ク云フ法律ヲ日本ニ實施シテハ宜イカ惡イカト云フコトヲ御尋ネニナルノデアアルカ、或ハ全クノ一ツノ純然タル立法デアッテ、箇條々々ニ付テ是ハ宜イトカ惡イトカ云フコトヲ審議スレバ宜イト云フノデアアルカ、ドウモソコノ處ガ私等甚ダ迷フノデス、私ガ不肖デ十分ニ其御説明ヲ體得スルコトガ出来ヌノカモ知レマセヌガ、兎ニ角モ餘程異様な感ジヲ持ッテ居ルノデス、ソレデ此儘デ、唯條約デアアルカラシテドウモコチラニ於テ如何トモスルコトガ出来ナイト云ッテ其儘ニ雲煙過眼シテ所謂一

瀋千里ノヤウナ勢ヒデ、放ッテ置クト云フカ、ドウモ……サウスルノモドウカ知ラント思ハルル節モアリマスシ、又之ヲ眞面目ニ一條一句ニ付テ十分研究シタ所デ何ノ詮モナイト云フコトニナレバ、自然ソレニ對シテ實方入ラヌト云フコトニナッテ仕舞フ、實ニ迷ッテ居ル、ソレデチヨット御尋ハ違ヒマスルガ、條約ト云フコトニナルト、是ハ普通ノ例ト致シマシテ樞密院ニ御諮問ニナルコトニナッテ居ル、ソレデ其御諮問ノ手續ハモウ既ニ済ンデ居ルノデアアルカ、或ハ茲ニ熟慮審議シタ後ニ、宜イトカ惡イトカ決ッ

タ上デ御諮問ニナルト云フヤウナ手續ニナルノデアアルカ、單純ナル法律デアレバ唯陛下下ガ之ヲ御裁可ナサルカナサラヌカト云フ違デアアルガ、若シ茲デ折角熟慮審議シタ所ガ樞密院ニ於テ是ハ不可デアアル、或ハ是ハ宜イノデアアルトカ云フコトニナルト、茲デシタコトガドウ云フ效果ヲ生ズルカ、ソレモ判ラヌ、餘程變ナモノニナリハシナイカト私ハ思フ、ソレナラバ樞密院ニ於テ若シ御諮問ニ未ダナラヌコトデアレバ更ニナサル、所ガ樞密院ニ於テハ議會ノ審議ニ付テハ少シモ拘束サレナイ、サウスルト、兩院ニ於テ此法案ガ通過シタ所デ、樞密院ニ於テ是ハ不可デアアル、斯ウ云フ條約ヲ結ンデハ

イカナイト云フコトニナルトドウナル、尤モ是ハ條約ヲ御批准ナサルカナサラヌカト云フコトハ、陛下ノ御大權デアリマスカラ、何人モ容喙スルコトハ出來マセヌカラ、自然樞密院ニ於テドウ云フ風ニ御諮問ニナタ所ガ、ソレハ何等影響ハ及ビマセヌトシタ所ガ、實際ニ於テハドウモ變ナモノニナリハシナイカ、此點ダケヲチヨット……

○政府委員(松田道一君) 只今樞密院ノ關係ヲ御尋ネニナリマシタノデアリマスガ、樞密院ノ手續ハ未ダ御諮詢ノ奏請ハ致シテ居リマセヌノデアリマス、ソレト申シマスルノハ斯ウ云フ例ハ度々アルノデアリマシテ、先程司法大臣及長島政府委員ヨリ御説明申上ゲタ如ク、國內法制ニ關係ノアル條約……此條約ト申シマスルノハ單ニ二國間ノ條約バカリデナク、國際條約ノ場合ニ於キマシテハ、國外的ニ條約ヲ締結シ、而シテソレノ御批准ヲ經マシテ、サウシテソレガ實施セラレルト云フコトニナリマシタ場合ニ、條約ト國內法制トガ合ハナイト云フト、實ハ條約違反ト申シテハナンデスガ、條約通りニ行ハレナイト云フコトニナリマス、此例ハ度々アルコトデアリマシテ、例ヘバ同シ商法ノ中デモアリマスガ、船舶ノ衝突、或ハ救援救助ト云フヤウナモノニ付キマシ

テハ、海上法ノ統一ノ上デ矢張り海上法ノ會議ガ白耳義ノ「ブラッセルズ」ニアリマシテ、サウシテソコデ是ハ多數國內ニ出來マシタル海上衝突及ビ救援救助ニ關スル統一法ナドヲ拵ヘマス場合デモ、ヤハリ日本ノ海上法ノ中ノ規定ヲイヂルト云フコトニナリマシテ、ソレガ改正サレテ初メテ條約モ行ハレルト云フコトニナルノデアリマシテ、條約ヲ實施スルト云フコトハ、即チ國內法ト一致ヲ保タシテ、初メテ行ハレルト云フコトニナルノデアリマス、例ヘバ近頃度々能ク例モアリマス如ク、勞働會議ニ於テ、色々ノ條約案ヲ採擇シマシテ、例ヘバ強制勞働ヲ廢止シタラドウカト云フヤウナ場合ニ、其強制勞働ヲ廢止スルト、條約ハ、ヤハリ強制勞働ヲ其國ニ行ッテナイト云フ國デナイト、ソレニ入ラナイ、最近ニ是ガ問題ニナッテ居リマシテ、昨年ノ勞働會議デハ其條約案ガ採擇サレテ居ルノデアリマシガ、日本ニ於テハ強制勞働ハナイガ故ニ、此條約ト云フモノニ先ヅ加入シ得ルモノト

思ッテ居リマス、斯ウ云フヤウナ次第デアリマシテ、是ハ必シモ法律バカリニハ關係シナイ、或ル事項ハ命令ダケデ國內法ガ出來ル場合モアルノデアリマス、其場合ニハ國外ノ關係ハゴザイマセヌガ、今日ノ手形法

ノ場合ハ矢張り先程司法大臣ノ御説明ナサレタ如ク議會ノ協贊ヲ經テ手形法ト云フモノガ行ハレテ居ルノデアリマス、ソコデ此議會ニ提出サレルト云フコトニ私ナドハ解シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ條約ヲ縛ラレテ居ルトカ、條約ヲ縛サレテ居ルト申シマスト云フト、是ハ少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、其兩方ヲ相俟ッテ行ハレルト云フ趣意デアリマス、或ハ日本以外ノ其他ノ國ニ於キマシテ條約モ矢張り此議會ノ協贊ヲ經ルト云フヤウナ制度ニ於キマシテハ、斯ウ云フ問題ハ起ラナイト思ヒマスルケレドモ、日本ノ憲法ノ上カラ見マシテ、條約ト此法律ト云フモノハ別ノ機關ニ屬シテ居リマス、ドウシテモ斯ウ云フ關係ヲ生ズルノハ已ムヲ得ナイコトダラウト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ今度ノ手形法ノ場合ニ於キマシテハ以前ノ場合ト違ヒマシテ、此條約ニ規定シテ居リマスル條文其儘ニ採擇ヲシナイト云フト條約トシテ行ハレナイト云フ點ガ非常ニ窮屈ニナッテ居ル、從來ノ場合ニハ大體文句ナドモ同ジデアリマスケレドモ、例ヘバ先程申上ゲマシタ海上衝突ト云フヤウナモノノ場合ニハ條文ハ同ジ、ソレハ殆ド一箇條カ二箇條ノ簡單ナモノデアリマシタカラナンデア

ル場合モアルノデアリマス、其場合ニハ國外ノ關係ハゴザイマセヌガ、今日ノ手形法

リマスルガ、エライ問題モ起リマセヌガ、

今日ノ問題ニナッテ居リマスル此手形法デ

アリマスルト云フト浩翰ナモノデアリマス

ルガ故ニ、如何ニモ各條其儘ヲ鵜呑ニシナ

ケレバナラヌカト云フヤウナ疑モアルノデ

アリマスルガ、鵜呑ト云フヨリハ寧ロ之ヲ

一箇條、一箇條トシテ適當デアリヤ、不適

當デアリヤト云フ國內法ノ立場カラシテ御

審議ヲ願ヒマシテ、而シテソレガ適當デア

ルト云フコトニナリマスルト云フト、初メ

テ條約ヲ批准シタ時ニ施行シ得ルト云フ其

本ガ出來ルノデアリマス、若シ是ガ採擇セ

ラレマセヌト云フト、條約ノ方ハ詰リ行ハ

レナイノデアリマスルカラシテ、從テ條約ノ

施行ト云フコトノ方ヲ進メルコトガ出來ナ

イ其他非常ニ其關係ガ密接デアリマスルト同

時ニ又困難デアリマスルケレドモ、此手形

法ノ會議ノ從來ノ沿革ニ依リマシテ、日本

ノ主張スル所ハ十分ニ貫徹サレテ居ルノデ

アリマスルカラシテ、大體ニ於テハ先ヅ是

デ政府トシテハ差支ナイト云フ方ノ考ハ

持ッテ居リマス、御審議ハ只今水上委員ノ仰

セラレマシタコトハ是ハ誠ニ至當ノコトデ

アリマス、決シテ條約ヲ強要スルト云フヤ

ウナ意味ニハ御探リ下サラナイコトヲ御願

ヒシタイト思ヒマス、斯ウ云フ考ヲ持ッテ

居リマス

○水上長次郎君 只今外務省ノ政府委員カ

ラ御話ガゴザイマシテ、樞密院ヘハマダ御

諮問ノ手續ハシテナイト云フコトデアリマ

シタガ、極ク端のニ一ツ御質問シタイノハ、

若シ此手形法ニ付テ我ニ於テ逐條審議ノ

末ニ或ル一箇條、或ル文句ヲ修正ヲ致シマ

シタナラバ、到底法案ハ成立タヌコトニナ

ル、假令其修正シタリ、或ハ變更シタリシ

タコトガ兩院ニ於テ一致シタ所ガ、本案ト

云フモノハ成立タヌコトニナル、サウ云フ

ヤウナ、茲デ斯ウ修正スルノガ是ナリ、斯

フ文字ヲ改メルノガ可ナリトカ云ッテ可決

シタ所ガ此案ガ成立タヌコトニナレバ、何

ノ爲ニ審議スルノカ分ラヌ、若シ一方ニ於

テ條約ヲ修正スレバ國際手形法トシテハ成

立ヌカラシテ、一方ハ加入セヌシ、一方ニ

於テハ國際手形法トシテ成立ツ、斯フ云フ

オカシナコトニナルト、是ガ内國法デア

ナラバ、ソレハ宜シイ、ケレドモ國際手形

法、即チ對外手形法デア

ルカラ、ドチラニ

シテモ成立タヌ、其點ハドウ云フコトニナ

リマスカ、此法案ハ……

○政府委員(長島毅君) 是ハ結局國際手形

法、即チ結局是ハ國際法デアリマスガ、今

御協賛ヲ願ッテ居ルノハ條約デ以テ、條約ノ

第七條デ條約ノ附屬書、條約ニクッ付イテ

居ルノハ國內法デ以テ施行ヲスルト云フコ

トノ約束ニナッテ居リマスカラ、日本モ斯

ウ云フ同ジ國內法ヲ作り、佛蘭西トカ獨逸

トカモ作ルト、國際的ニ手形法統一サレマ

スカラ、便宜ニナルト云フノデ、今御審議

ヲ願ッテ居ルノハ國內法デアリマスガ、國內

法ガ同ジヤウニナリマスカラ、國際的ニ手

形ガ統一スル、斯ウ云フ結果ニナルノデア

リマス

○水上長次郎君 サウ致シマス云フト、

若シ一箇條カ、二三ノ文句ヲ修正イタシマ

シタ時ニハ此法案ハドウナルノデスカ

○政府委員(長島毅君) 詰リサウナリマス

レバ、統一條約ノ目的ヲ達シナイコトニナ

リマス

○水上長次郎君 法案其モノハドウナルデ

スカ

○政府委員(長島毅君) ソレハ若シ兩院ヲ

通過スレバ、國內法トシテ有效ニナル、併

ナガラサウナレバ結局此法案ヲ出シタ目

的ハ達シナイノデアリマシテ、條約ノ批准

モ出來ナケレバ、此法案ヲ出シタ目的ハ後

却サレテ來ル、純理論ヲ申上ゲレバ一部分

直レバ、是ハ國內法トシテ成立スルコトニ

ナリマスガ、其場合ニハ法案ヲ出シタ目的

ハ全然達シナイコトニナリマス

○山川端夫君 今水上君ノ御質問ハ重要ナ

點デアリマスカラ、一應速記ヲ止シテ懇談

ヲシテ戴クコトニナス、タラドウデセウ

○副委員長(木場貞長君) 宜シウゴザイマ

セウ、速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○副委員長(木場貞長君) ソレデハ是カラ

速記ヲ願ヒマス、モウ御質疑ハゴザイマセ

ヌカ

○男爵渡邊修二君 此條約ヲ既ニ批准シタ

國ハアルノデアリマスカ

○政府委員(松田道一君) 今日マデ此條約

ヲ批准シテ居リマスル國ハ希臘一國デアリ

マス、其他ノ國ハ矢張り今議會ニ提出スル

準備ヲシテ居ルト云フヤウナコトデ、追々

是ハマア期日モ切迫シテ居ルノデアリマス

カラ、相當進捗シテ居ルモノガラウト思ヒ

マス、只今御質問ニナリマシタ既ニモウ條

約ノ批准ヲシタ國ハ確カ希臘一國ダケデア

リマス

○政府委員(長島毅君) 尙ホ今ノ……條約

局長ノ言ハレマシタ通りデアリマスガ、佛

蘭西ハ何デモ六月ノ初メニ開カレル議會デ

審議ヲシテ條約ノ批准ヲ見ルコトニナル見

込ダラウト思ヒマス、六月初メト云ヘバ何

時頃デアリマスカ、マダ能ク分リマセヌガ兎ニ角サウ云フコトデアリマス、獨逸ハ何デモ改正ノ法案ガ出来テ居リマシテ、ソレハ現ニ日本ニモ届イテ居リマスガ、議會ニ提出ニナルト云フコトモ、參議院ナンカガ豫メ贊意ヲ表シテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ草案ガ參テ居リマス、伊太利ハ批准ガ五月中ニ完了ノ豫定デアッタト云フコトハ、是ハ少シ見當違ヒ見込違ヒデアッタカモ知レマセヌケレドモ、五月ノ…外務省デ調ベテ戴イタノデハ、五月中ニ完了ノ豫定ダ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ瑞西ノ方モ矢張り六月頃ニ批准サレル、和蘭ハマダ不明ダト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、漸次兎ニ角九月一日迄ニ段々ト出揃ッテ來ルコトデヤナイカト思ヒマス

○男爵渡邊修二君 此法案ニ依リマシテ商法ノ手形篇ノ大部分ノ改正ト云ヒマスカ、削除ト云フヤウナコトニナッテ居ルヤウデアリマスガ、素人ノ者カラ、法律ノ改正ト云フヤウナ場合ニハ、スグ見テモ分ルヤウニシテ戴キタイト思フノデゴザイマスガ、此附則ノ八十條ニ依リマスト「商法第四篇第一章乃至第三章及商法施行法第二百二十四條乃至第二百六條ハ之ヲ削除ス但シ云

々」トアリマスガ、此削除スルコトハ死シダヤウナ、生キタヤウナコトニモナルノデスガ、素人ノ者ニハ全ク見ルノニ不便ダト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ何トカモウ少シ工合ヨク御整理ハ出来ナイモノデアリマセウカ、或ハ是デ工合ヨク出来テ居ルノデアリマセウカ、チヨット伺ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 詰リ是ハ此削除ハ御承知ノ通り手形ニ關スル規定ガ全部削除サレテ居リマス、是ニ代ヘテ此手形法ト云フ獨立法ヲ出シマシタモノデスカラ、ドウシテモ此削除ハヤルヨリ仕方ガナクテ、アレハ商法ヨリ取ッテ、單行法ニシタノデス、ソレデ斯ウ云フ風ニナッタノデス、但書ノ方ハ他ノ法律ニ小切手ノナイ限リソレガ準用サレテ居リマスカラ、準用ノ範圍ニ於テ此法律ヲ其儘ニシテ置ク、小切手ハ又何レ此通常議會ニ出マシテ、キツト是ト同ジ形ノモノガ矢張り統一條約ニ調印イタシマシタカラ、小切手法ハ通常議會ニ御協賛ヲ願フコトニナラウカト思ヒマス

カ東ネテ討議シテ宜シカラウカト思ヒマス、從ヒマシテ小サイ點ニ付テ、極ク已ムヲ得ヌ部分ハ討論ノ前ニ爲サレルコトノ自由ヲ殘シテ置イタ方ガ宜シクハナイカト思ヒマス、ソレデヤサウ云フ了解ノ下ニ第一條ヨリ第十條迄、第一章全部之ヲ議題ニ供シマス、御異議ゴザイマセヌカ

○副委員長(木場貞長君) 御異議ナケレバ第十一條ヨリ第二十條ノ處迄ニ章全部…
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 第三章第二十一條ヨリ第二十九條迄、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) デハ、三十條ヨリ三十二條迄、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) ソレデヤ第三十三條ヨリ三十七條迄、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 御異議ナケレバ第三十八條ヨリ第四十二條迄、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) ソレデハ四十三

條ヨリ五十四條迄、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) ナケレバ第五十五條ヨリ六十三條迄、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 御異議ナケレバ第六十四條ヨリ第六十八條迄
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ第六十九條ヨリ七十一條迄
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 第七十二條ヨリ七十四條迄
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ第七十五條ヨリ七十八條迄
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ附則第七十九條ヨリ、是ハハチット多過ギルカラ全部ガ手ガ掛ケラレルモノノヤウデアリマスガ、是ハ七十九條ヨリ八十七條迄、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ第八十八條ヨリ九十四條迄、御異議ゴザ

イマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ全體ヲ通ジテ三讀會見タイナコトニナツテ、モウ一遍御發言ヲ許シタイト思ヒマス是ハ速記ヲ止シテ御發言ニナリタイ方モアリマシヤウデゴザイマスガ、其時ハ……

○水上長次郎君 此全部ノ御質問ノアル方ガアルカモ知レマセヌガ、第六條ノ第一項ト二項トガ何ダカ同ジヤウナコトニチヨト見エルヤウデアリマスガ、此「重複シテ」ト云フコトガ二項ノ方ニアリ初項ノ方ニハ何ニモ無イ、初項ノ方デハ「爲替手形ノ金額ヲ文字及數字ヲ以テ記載シタル」時、文字及ビ數字ノ兩方デ記載スル、其時ニハ「文字ヲ以テ記載シタル金額ヲ手形金額トス」、二項ノ方デハ最小額ヲ以テ本爲替ノ金額トシテ居ル、斯ウアル、サウスルト撞着スルヤウデゴザイマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(長島毅君) 一項ノ方ハドウモ日本デ言フト、ドウ云フ風ニ當リマスカ、日本デ言フト、恐ラクハ亞刺比亞數字デ位取りデ書イタノハ、一、二、三ト云フ風ニ書イタノガ數字ノ方デ、文字ノ方ハ正式ニ二千三百ト云フ風ニ書イタノダラウト思ヒ

マス、ソレガ喰ヒ違フ時ニハドチラニ依ルカト云フコトヲ、斯ウ云フコトヲ云フ譯デ

スナ、外國ノ奴デスト羅馬數字デ、一方ハ「ツ・ハンドレド」トカ何トカ書イタモノ、二項ハサウデナク、同種類ノ奴、若シ他ノ奴ガ重複シテ違フテ居ル、數字ダケノヤツガ違フテ居ル、例ヘバ文字ガ二箇所ニ書イテアル、打抜ノ方モ文字デ書イテアリ、中ノ方モ文字デ書イテアル、斯ウ云フヤウナ

風デ兩方トモ重複シテ文字デ書イテアル時ニハドッチデヤルカ、或ハ兩方トモ數字デ書イテアルカ、同ジヤウナモノデスカ……

○水上長次郎君 ドチラニ書イテモ同ジデスカ……

○政府委員(長島毅君) 一項ハ種類ガ違ウカラ……文字ト數字デスカラソレヲ重複トハ云ハナイ、二項ハ同ジ種類ダカラ重複ト云フ譯デ……

○副委員長(木場貞長君) ソレデハ全體ニ付テ御異議ナイト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(木場貞長君) ソレデハ本案ハ成立シマシタ、是デ散會イタシマス
午前十一時二十二分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 木場 貞長君

委員

子爵秋月 種英君

水上長次郎君

山川 端夫君

男爵渡邊 修二君

各務 鎌吉君

澤田 喜彦君

國務大臣

司法大臣 小山 松吉君

政府委員

外務省條約局長 松田 道一君

司法省民事局長 長島 毅君